

『日中国交正常化45周年記念に係る中国中山市訪問』の所感

長崎市議会議員 平野 剛

〈期間〉 11月2日～5日 3泊4日
(別紙 日程表)

〈所感〉

◦中山市人民代表大会 訪問

中山市側出席者＝中山市人民代表大会常務委員会より4名
中山市外事僑務局副局より2名

2011年に孫文先生生誕150周年を機に、梅屋庄吉との関係がクローズアップされ、長崎市と友好関係を提携した。

中国国内でも150周年を機に再度、国内機運が高まったとの事でした。

現在、長崎市とはトップレベルの相互訪問、民間レベルでは子ども達の修学旅行による相互訪問等交流を深めている。

歓談の中で、スポーツでの交流を提案した所、中山市では野球が活発との事で、何かの競技での交流をやっていこうとの前向きな話が出来ました。

また、駐長崎総領事館と地元住民との間で、『日中友好は長崎から』の思いでお互い日頃交流している話も出来ました。

中国に対して日本でも有数の理解と友好の心を持っている長崎へ、今回の出席者の皆さんをはじめ多くの方々に是非お越し頂くよう要望した次第です。

訪問後、夕食を取りながらの意見交換も行いました。

◦孫文故居 視察

孫文先生の生家を視察。

生誕150周年を機に中国国内でも再びクローズアップされ、多くの観光客で賑わっていました。

◦香港ビクトリアピーク 視察

長崎とともに認定された世界新三大夜景の一つ香港のビクトリアピークを視察。

九龍半島から香港島をつなぐ香港の港と、多数の高層ビルからなる夜景は見応えがありました。

展望所周辺は広く土地を取った開発がなされており、多くの観光客を受け入れ出来る施設が作られている。

この事は頂上においてもお金が落ちる仕組みになっており、土地に制限がある稲佐山や鍋冠山でも、出来る事は取り組む必要性を感じる。

また夜景においても、民間の協力でビルのライトアップ、窓を利用したイルミネーション。そしてマンションにおいてもほとんどの部屋でカーテンが空いており、夜景の一役を担っていました。

長崎でも時折民間への協力を実施しているものの、常時の体制にはなっておらず、気運の高まりにより更に魅力を高められる可能性を感じました。